

# エンタープライズ データ スクリーン ポップの設定方法

## 内容

### [概要](#)

### [エンタープライズ データ スクリーン ポップの設定方法](#)

### [関連情報](#)

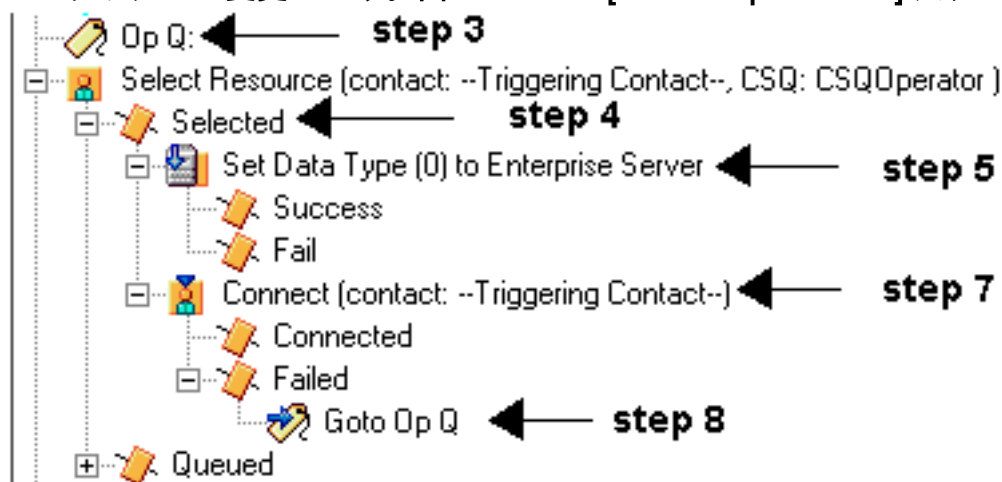
## 概要

このドキュメントでは、企業データの画面ポップアップを設定する手順について説明します。この手順により、すでに存在するスクリプトに特定の手順を追加できます。

**Q.エンタープライズデータスクリーンポップをセットアップするにはどうすればよいですか。**

**A.エンタープライズデータ画面を設定する手順は、次のとおりです。**

1. 『[Cisco Desktop Administrator ユーザ ガイド](#)』の 2-3 ページから 2-8 ページで示すように、エンタープライズ データを設定します。この手順では、フィールドリストにカスタム フィールドを追加するか、既存のカスタム フィールドを編集します。注：定義済みフィールドのインデックス番号は231 ~ 255で、編集することはできません。0 ~ 230 のインデックス番号を使用してカスタム フィールドを編集できます。
2. Cisco Response Applications Script Editor を実行して、エンタープライズ データがポップするスクリプトを変更します。図 1：1 つの [Set Enterprise Data] ステップを含むスクリプト

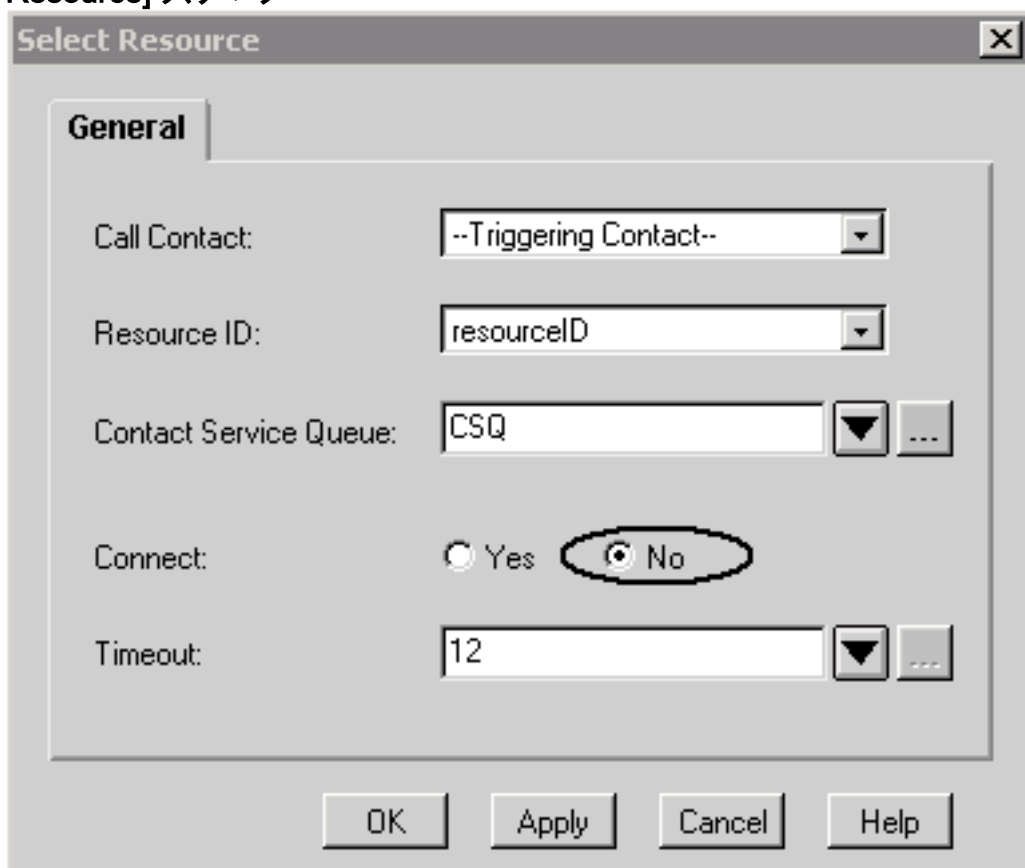


3. [Select Resource] の前に「Op Q」という名前のラベルを追加します ( [図 1](#) と [図 2](#) を参照

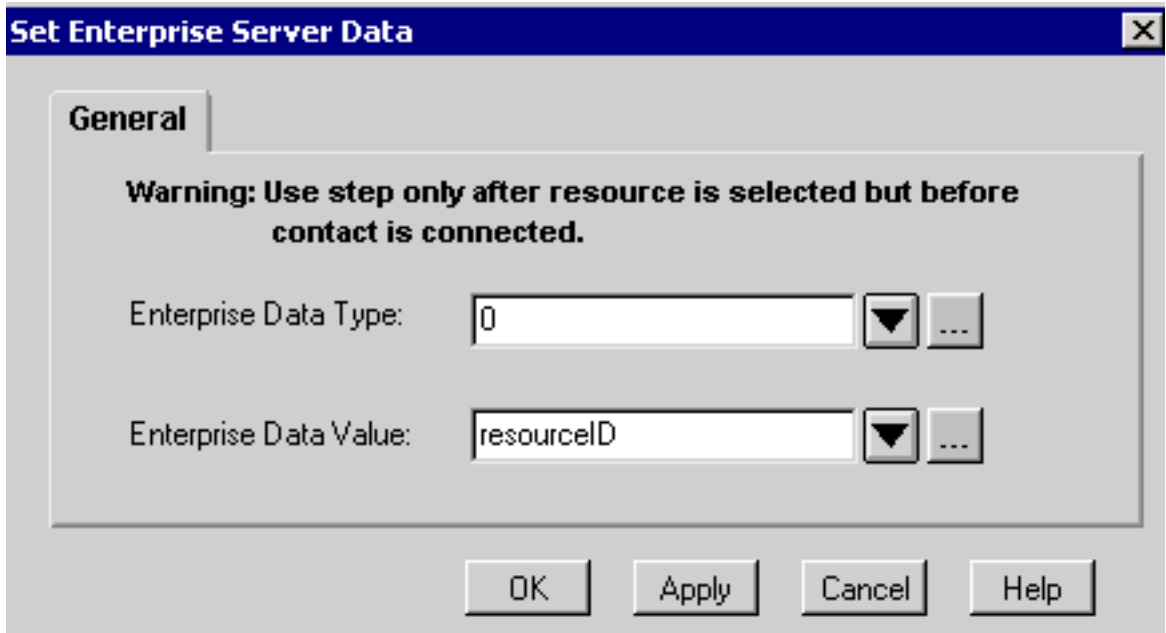


)。図 2 : [Adding Label] ステップ

4. [Select Resource] ステップをすぐに接続しないように変更します。[No] ラジオ ボタンを選択すると、選択した出力分岐が表示されます ( 図 1 と 図 3 を参照 )。図 3 : [Select Resource] ステップ

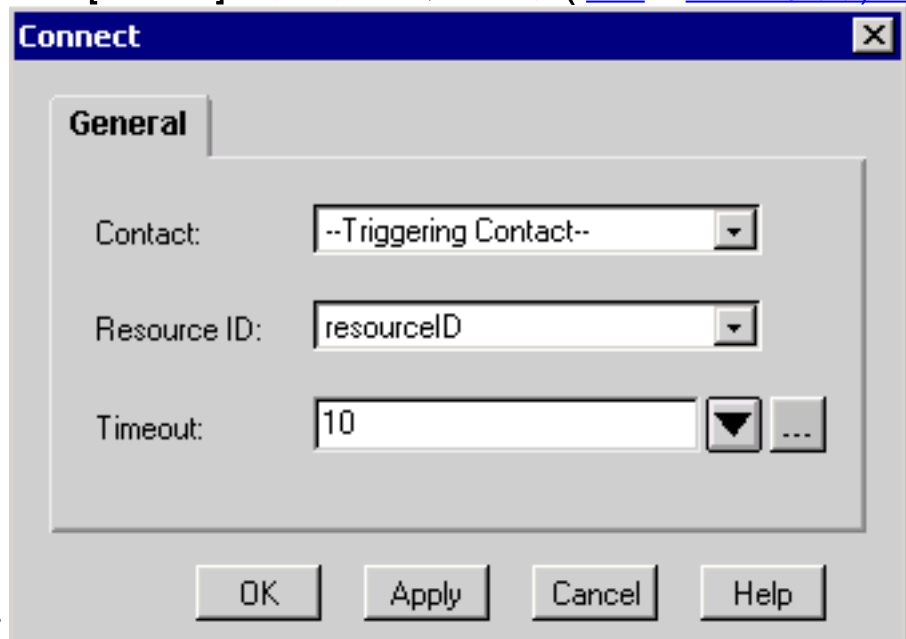


5. ステップ 1 で設定した文字列変数とフィールドのインデックスを使用して、[Set Enterprise Data] ステップを追加します ( 図 1 と 図 4 を参照 )。図 4 : [Set Enterprise Server Data] ス



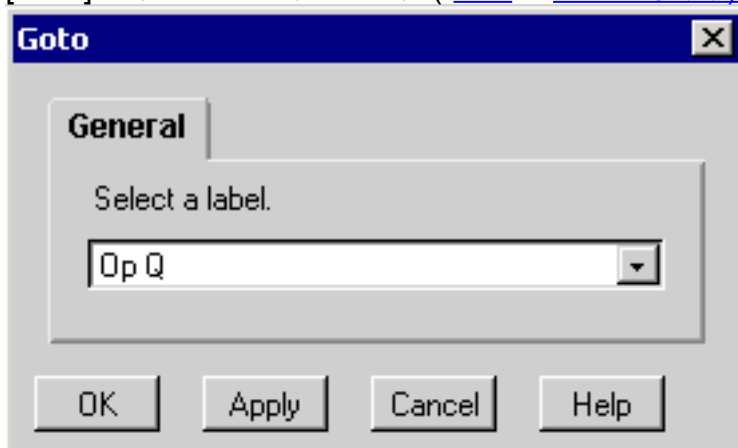
#### テツプ

6. 必要に応じて [Set Enterprise Data] ステツプをさらに追加するには、ステップ 5 を繰り返します。
7. ResourceID 変数を指定して [Connect] ステツプを追加します ( 図 1 と 図 5 を参照 )。 図



#### 5 : [Connect] ステツプ

8. [Connect] の下の [Failed] ステツプで、ステップ 3 の参照先「Op Q」に移動するための [Goto] ステツプを追加します ( 図 1 と 図 6 を参照 )。 図 6 : [Goto] ステツプ



## 関連情報

- [Cisco Desktop Administrator ユーザ ガイド](#)
- [テクニカルサポート - Cisco Systems](#)